

VIII. 記録写真

1. COEX 展示会場外観



2. 展示会開会式テープカット



3. 日本パビリオン広報ブース



4. 来場者で賑わう日本パビリオン（出展者コーナー）



5. 仙台の酒屋 浅野



6. 千駒酒造株式会社



7. 辰馬本家酒造株式会社



8. 辻本店(御前酒)



9. 千代むすび酒造株式会社



10. 大谷酒造株式会社



11. 久米仙酒造株式会社



12. 沖縄物産企業連合株式会社



13. 株式会社神明



14. 築野食品工業株式会社



15. 株式会社中温



16. 丸菱株式会社



17. 株式会社 あさ開



18. 梅乃宿酒造株式会社



19. 木村飲料株式会社



20. 静岡県



21. 佐々木製茶株式会社



22. 株式会社ぬちまーす



23. 有限会社渡具知



24. 有限会社藤二商会



25. 株式会社青研



26. 中礼内村農業協同組合



27. 株式会社おばねや



28. 株式会社 澤井珈琲



29. 有限会社高知アイス



30. 株式会社フジバンビ



31. 株式会社 銀座みゆき堂



32. 九州おぎはら産業株式会社



33. 株式会社 Hanbit



34. 三久食品株式会社



35. 久保田物産株式会社



36. 五木食品株式会社



37. 株式会社 ひかり味噌



38. 株式会社 合食



39. 株式会社 フタバ



40. 株式会社高木海藻店



41. 田中食品株式会社



42. 株式会社 越河



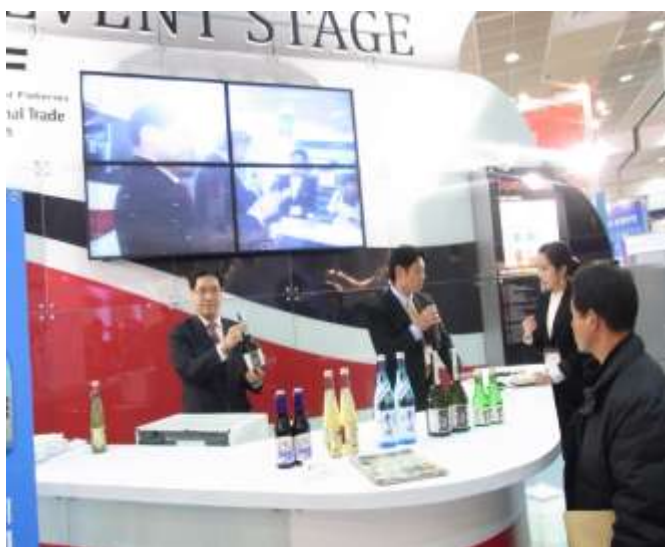
43. 料理デモンストレーションコーナー



44. 料理デモ フタバ



45. 料理デモ あさ開



44. 料理デモ 静岡県



45. 料理デモ 大谷酒造株式会社



46. 料理デモ 千代むすび酒造株式会社



併催セミナー（11月19日）COEX317 会議室

37. 第一部(荻原講師)



38. 第二部(中村講師)



企業交流会（11月19日）COEX318 会議室

43. 主催者挨拶①（農林水産省竹内輸出促進室長）



44. 来賓挨拶①（在ソウル日本大使館尾池公使）



45. 来賓挨拶②（モノリンク社社長 氏）



46. 交流会会場



IX. 参 考 资 料

1. 出展者募集案内資料

平成 21 年度農林水産省委託事業 農林水産物等海外販路創出・拡大事業(海外展示・商談活動) Food Week 2009「出展者募集案内書」

1. 日本パビリオン設置の目的

韓国ソウルで 2009 年 11 月 19 日から 22 日まで開催される FOOD WEEK は、アジア最大の地下ショッピングモールを併設するソウル中心部の COEX にて、7 万人に上る来場者を迎える大型食品見本市です。

開催国である韓国は、健康志向や毎年 200 万人を越える日本への渡航者を背景に、日本食・日本食品の市場が拡大しつつあり、常に日本の農水産品の輸出相手国の上位(2008 年基準:第 3 位)に位置づけられる重要な輸出市場です。

海外販路創出・拡大の絶好の機会として、Food Week 2009 の日本パビリオンを是非ご活用ください。

2. 事業実施者

日本貿易振興機構(ジェトロ)は、農林水産省の委託を受け、本事業を実施します。

3. 見本市概要

(1)見本市名:Food Week 2009

(2)会期:2009 年 11 月 19 日(木)~22 日(日) 4 日間 開場時間 10:00~17:00(最終日は 16:00)

(3)会場:COEX(Convention & Exhibition)Hall A, B, C, World Trade Center, Gangnam-gu, Seoul,
135-731, Korea

(4)主催者:COEX

(5)展示面積:28,026 m²

(6)開催規模:600 社、1200 ブース(予定)

(7)来場者数:7 万 6 千人 (Food Week 2008 実績)

(8)ウェブサイト:<http://www.foodweek.co.kr/2009/jpn/main.asp>

4. 募集要項

(1)参加規模:「日本パビリオン」 42 小間 (378 m²)

* 出展者スペース 30 小間 ※原則 1 出展者 1 小間(3m×3m)とします。

* 共用スペース 12 小間 (広報ブース、商談ブース、イベントスペース、事務局)

(2)出展物の要件:

韓国で販売可能な日本産農林水産物、日本製加工食品・飲料又は日本産農林水産物を主原料とした加工食品・飲料

※1 制度上、日本から韓国へ輸出可能なものに限ります。例えば、牛肉、りんご、梨、ビワ、桃、きゅうり、すいか、唐辛子、ピーマンは韓国側の輸入禁止品目となっています。「韓国向け加工食品を輸出する際の現地規制および留意点について」(ジェトロ貿易投資相談 Q&A より:
<http://www.jetro.go.jp/world/asia/qa/01/04A-080910>)及び別添資料の「韓国に輸入できる果物と原産国・地域」を参考にしてください。

(3)出展料: 無料

5. サービス内容

(1)本委託事業で提供するサービス

① 会場賃料、パビリオン設置・装飾

② パビリオン共通設備等維持管理(一定量の電気、水道、警備等)

③ 集客のための広報、日本パビリオン内イベント運営費

- ④ パビリオンの総合受付(バイリンガル)(若干名)
- ⑤ 来場者向け日本パビリオンパンフレット作成

(2) 本委託事業で提供しないサービス

「5.の(1)」以外の出展者負担の経費であり、主なものは次のとおりです。

- ① 輸送に要する経費（輸送業者について、ジェットロはオフィシャルフォワーダー等の情報提供をいたしますが、業者選定、手続等については、各出展者様の責任において直接行っていただきます。展示会日程に合わせた輸送スケジュール設定を行って下さい。なお、本見本市は、別添海外見本市出展規程の「輸送なし」に該当します。）
 - ・ 輸出梱包及び展示会場までの通関・輸送費
 - ・ 見本市終了後、出展物の処理(還送・転送等)に係わる通関・輸送経費
 - ・ 出展物に係わる輸入税、通関費用、その他公租公課、輸送保険料
- ② 展示装飾に要する経費
 - ・ 出展者が特別又は独自に必要とする設備・備品等の設置・借上、撤去等に要する経費
- ③ 社員等の派遣に要する経費（渡航費、宿泊費等）
- ④ 出展物及び自社ブースに持ち込む出展者所有物に係る本展示会期中の盗難保険料
※高価な出展物及び自社ブースに持ち込むパソコン、デジタルカメラ等の出展者所有物には会期中の盗難保険を付保されることをお勧めします。見本市会場で生じた盗難については、ジェットロは一切責任を負いません。
- ⑤ その他
 - ・ 本見本市に係る、出展者の都合により発生する個別経費
 - ・ 各ブースに専属通訳又は専属アシスタントを配置されたい場合、ジェットロは、人の紹介又は雇用関係手続を代理する通訳派遣会社等の紹介をすることができますが、経費は出展者の自己負担となります。

6. 出展物の輸送方法及び見本市終了後の対応について

ジェットロより見本市のオフィシャルフォワーダーの日本代理店を参考として紹介します。必ず事前に見積り入手いただき、出展者の責任にて取引を行って下さい。各種手続き等については業者と直接行っていただきます。また、既にルートをお持ちの場合は当該業者をご利用いただき結構ですが、展示物の輸送、通関等が確実に行われるよう、出展者の責任において手配していただきますようお願いいたします。

また、見本市の出展物の販売は出来ません。会期終了後に出品物は自己責任にて現地処分する必要があります。

7. 小間位置の決定

会場全体の基本構成、小間位置は出展内容によりジェットロにて決定させていただきます。出展者様のご希望に沿えない場合がございますので、予めご了承下さい。

8. 出展の条件（社員等の派遣）

会期の全日程を通じて社員の方がブースにて商談・PR していただくことが条件です。申込み後に会期の全日程のアテンドができないことが明らかになった場合には、ご出展をお断りすることもあります。

9. アンケート等へのご協力

出展者の皆様には、会期前後および会期中に行うアンケートなどにご協力いただきます。現地ディストリビューターなどと共同で商談する場合も、出展者の実績として成果を記載してください。

また、出展者の皆様には、農林水産省が別途実施する農林水産物等海外販路創出・拡大事業のうちのフォローアップ調査(聞き取り調査、アンケート調査等)に必ずご協力いただきます。今年度以降に当該調査の受託業者から調査依頼があった際にはご対応いただく必要があります。

10. 応募方法

「出展者募集案内書」、「海外見本市規程」を必ずご確認ください、以下に沿ってお申込み下さい

い。

(1) 注意事項をご確認の上、原本郵送前に必要事項を記入した①出展申込書・承諾書(社印を捺印下さい)は FAX(FAXで送付する申込書は社印を捺印下さい)にて、②事前調査票は電子メールにてジェットロ担当まで提出願います。(①、②の提出書類を頂いた日から 1 営業日以内にジェットロから申込者に到着確認の連絡をします。連絡がない場合はジェットロ農林水産部までお問い合わせ下さい。)

(2) 申込期日までに①出展申込書・承諾書(2 通)、②事前調査票、③企業概要パンフレット、④出展物パンフレットを添付し、以下のお問い合わせ先ジェットロ担当宛に郵送して下さい。申込書・承諾書の記入サンプルをご参考にご記入下さい。また、出展物パンフレットが無い場合には「事前調査票」の項目4. になるべく詳細に出展物につき記載願います。

郵送先: 〒107-6006 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 8 階
ジェットロ農林水産部農林水産企画課(担当:小池)

(3) 申込締切日 **8月7日(金)必着**

*締切日に原本がジェットロに届いていない場合は、申込を無効とさせていただきますので、締切日にお気をつけ下さい。

(4) 出展を承諾する場合、ジェットロは「出展申込書・承諾書」(2 通)に代表者印を押印し、1 通を返送します。なお、出展申込書・承諾書は締め切り後、2週間以内の出来るだけ早い時期に返信予定です。

11. 出展者の選定

出展者の構成は、農林水産省との協議の上、決定します。

決定には以下を考慮し、同条件の場合は先着者を優先します。

- (1) 品目として輸出増が期待できるものか
- (2) 出展物の品質、価格、物流面での要件等が現地で受け入れられるものか
- (3) 輸出により新しい海外市場の開拓が期待できる商品か。
- (4) 日本産原料の使用割合
- (5) 応募者の輸出に取り組む姿勢・戦略、その中での本展示・商談会出展の位置付け
- (6) 応募者の生産・供給体制
- (7) 応募者の商談等への対応・フォローアップ体制
- (8) 法令順守にかかる実績及び姿勢
- (9) 応募者の経営規模
- (10) 応募者の輸出取引への関与度
- (11) 輸出のためのパートナー(輸出商社等)又は相当する事業者との連携度

なお、出展内容が日本パビリオンにふさわしくないと判断される応募者についてはご参加をお断りすることがございます。

12. 注意事項

- (1) 出展者説明会は、9 月上旬頃を予定しております。日程が決まり次第ご連絡致します。
- (2) 本見本市出展申し込み後に出展をキャンセルされた場合には、農林水産省に通知され、今後、農林水産省が出展する見本市における出展者の選定等において考慮されることとなります。
- (3) 本案内に記載されていない事項に関しては、別添「海外見本市出品規程」に準拠します。
- (4) 「出展者募集案内書」および「海外見本市出品規程」に定めのない事項に関しては、ジェットロがその対応を決定するものとし、政府の方針等により内容が変更される可能性がある旨予めご了承下さい。
- (5) 出展物は国内法令及び韓国の法令に照らして適法に輸送して下さい。違反した場合は、今後農林水産省が実施する海外展示商談活動への出展の選定等において考慮されることとなります。

以上

お問い合わせ先:

日本貿易振興機構(ジェットロ)

農林水産部 農林水産企画課(担当:小池)、事業課 (担当:築館・田原)

[TEL:03-3582-4966](tel:03-3582-4966)(農林水産企画課)、[TEL:03-3582-5546](tel:03-3582-5546)(農林水産事業課)

FAX:03-3582-7378 E-Mail: afa@jetro.go.jp

2. 料理デモンストレーション案内

FOOD WEEK 2009 Japan Pavilion 2009.11.19 - 22



Food Week 2009 Japan Pavilion의 Event Stage안내

Food Week 2009 Japan Pavilion을 관람하시는 또하나의 재미, Event Stage를 소개합니다. Event Stage는 Japan Pavilion내의 A331에 위치하고 있으며, 일본요리의 시연, 시식, 시음 등의 이벤트가 다채롭게 개최됩니다. 보다 가까이에서 일본요리, 일본술, 일본차 등을 접하실 수 있는 좋은 기회에 여러분들의 많은 참관을 부탁드립니다.

Event Stage 프로그램

19일(목)	20일(금)	21일(토)	22일(일)
11:30-12:00	주식회사 후타바 (30분)	주식회사 후타바 (30분)	주식회사 후타바 (30분)
12:30-13:00	주식회사 아사비라키(30분)	주식회사 아사비라키(30분)	
13:00-13:20	오타니주조 주식회사(20분)	오타니주조 주식회사(20분)	오타니주조 주식회사(20분)
14:00-14:30	시즈오카현 (오쿠라엔)(30분)	시즈오카현 (오쿠라엔)(30분)	시즈오카현 (오쿠라엔)(30분)
15:00-15:15	치요무스비 주조 (15분)	치요무스비 주조 (15분)	치요무스비 주조 (15분)

Event Stage 내용

오타니주조 주식회사

일본술 "가슴깊이 남는 술 다카이시메(鷹勇)"의 설명 및 시음

치요무스비 주조

치요무스비 이야기 및 시음

주식회사 후타바

돈돈시리즈 쓰유(つゆ)를 이용한 각종 요리시연

주식회사 아사비라키

전국신주감평회 18회연속 입상의 앙조장이 전하는 "요리를 빛나게 하는 술 수이진(水神)"의 시음

시즈오카현(유한회사 오쿠라엔)

한국차와 일본차의 차이에 대한 설명 및 시음

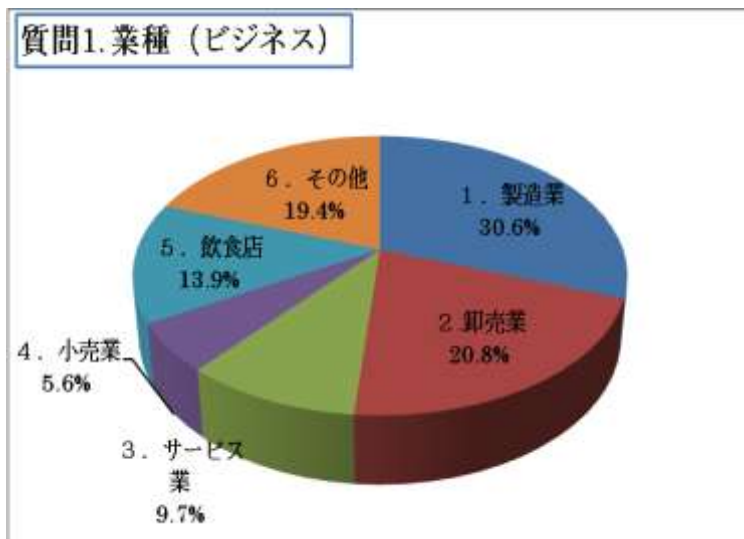


* 현상의 사정에 따라 일정이 변경될 수 있습니다.

3. 来場者アンケート

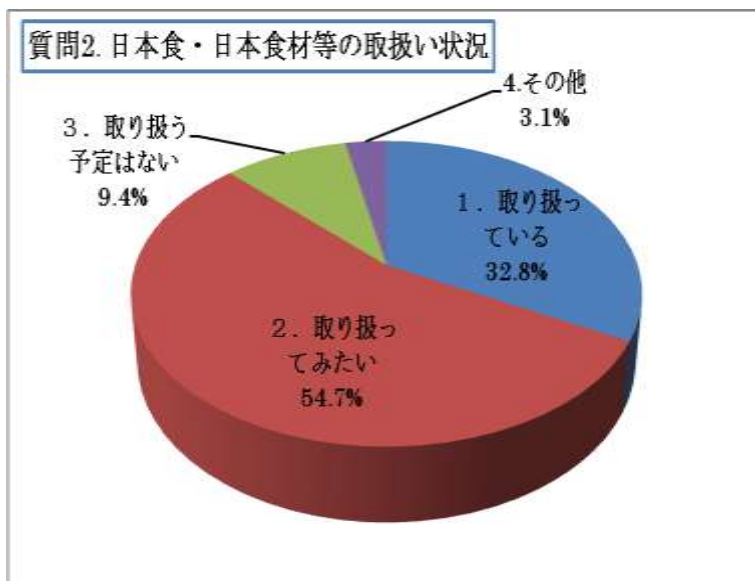
回答者数:66名、有効回答数数:58枚(回収率88.8%)

◆業種別割合(複数回答可:回答数81)



製造業が最も多く22名、次いで卸売業15、飲食業10など。
その他の回答:貿易業、メディア、流通等。

◆日本食・日本食材の取扱い有無(回答数:64)

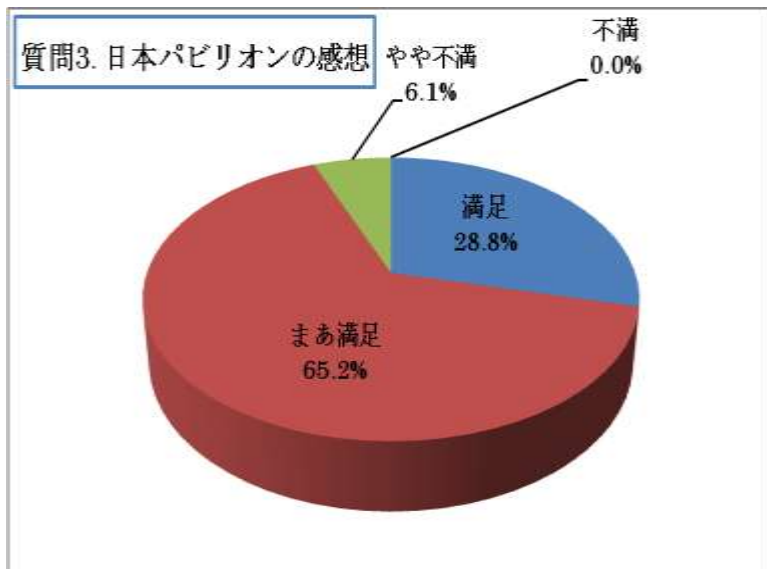


取扱っている、または取り扱ってみたい主な理由

- ・品質が良い、味が良い(多数回答)
- ・日本の食材に関心が高い(複数回答)
- ・食材料および商品の多様化

◆日本パビリオンの満足度(回答数:66)

・94%が「満足」又は「まあ満足」(4段階中上位2位以上)と回答した。

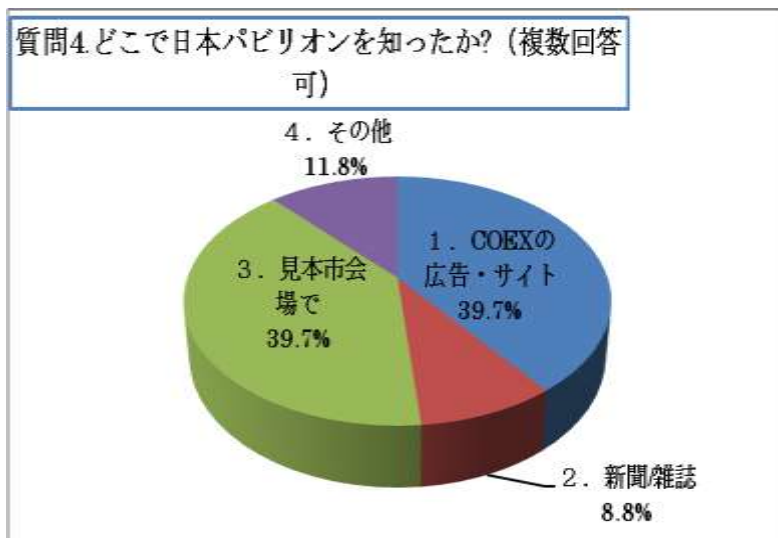


(回答理由)

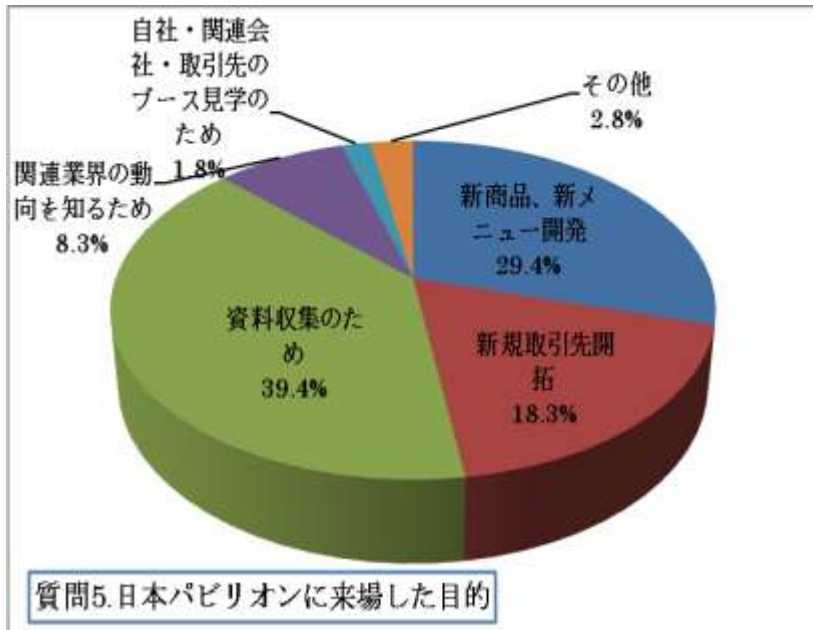
- ・多様な出展物と雰囲気にも満足したから(複数回答)
- ・多様かつ新しい食材があるから(複数回答)
- ・親切、広報活動に熱心
- ・一般食品が主流で、素材類が不足していた。
- ・製品に対する説明とその応用方法が不明確

◆どこで日本パビリオンを知りましたか?(回答数:68)

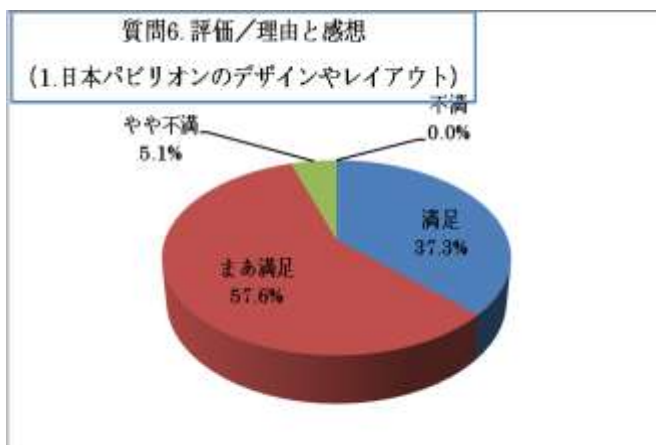
主催者 COEX のサイトで日本パビリオンが特集されたこともあり、1.COEX の広告・サイトを見た、との回答が 27 件となった。



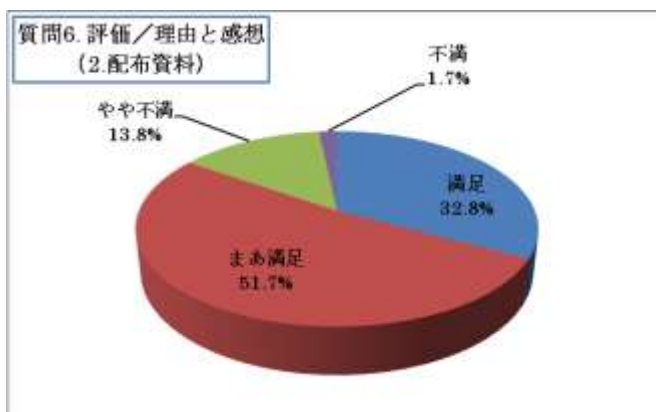
◆日本パビリオンを訪問した理由についてお聞かせください。(複数回答可、回答数:109件)
 「資料収集のため」という回答が43件、次いで「新商品、新メニュー開発のため」が32件、「新規取引先開拓」が20件となった。



◆日本パビリオンのデザイン・レイアウトについてお聞かせください。(回答数:59件)



◆日本パビリオンのデザイン・レイアウトについてお聞かせください。(回答数:58件)



- ◆ 今回出展された日本食、日本食材について関心事項等ありましたらご記入下さい(自由記入)
 - ・ 日本酒。一般酒の常識を超えた特異性!
 - ・ 飲料類。おいしくてユニーク。
 - ・ 機能性が評価できる。

- ◆ 日本食、日本食材についてどのようなイメージがありますか。(自由記入)
 - ・ 味や品質は優れているが、価格問題は今後解決が必要(多数回答)
 - ・ 清潔・衛生的。見た目も食感も良い。
 - ・ 清潔・安全・韓国人の口にあう。
 - ・ 多様性がある。

1. 新聞等クリッピング

2009年11月13日 聯合通信

ソウル国際食品産業展、日本から38社・団体が出展

【ソウル13日聯合ニュース】ソウル・三成洞のCOEXで19日から22日まで開催されるソウル国際食品産業展（FOOD WEEK 2009）に、日本の23都道府県から38社・団体が参加する。日本貿易振興機構（ジェトロ）が取りまとめ、「日本パビリオン」として出展するもので、各社関係者ら300人が訪れ、韓国への販路拡大を目指し積極的な広報を行う。

FOOD WEEKに出展した日本企業数は2006年が7社、2007年が5社にとどまっていたが、昨年には24社・団体に増えたのに続き、ことしは企業数と商品構成の面で最大規模となった。日本食や日本酒のアジア向け輸出はこれまで、豊かな消費者が増え輸送・流通も容易な中国や香港、台湾が中心だったが、日本商品の競合問題などから、日本の食品や酒になじみが深く、購入層が厚い韓国に目を向ける企業が増えているためとジェトロは分析している。

参加する日本企業の出展品目は、血圧上昇抑制作用がある海洋深層水、ミネラル含有量でギネス認定された食塩、認知症の予防効果成分が含まれたコーヒー、地元の食材にこだわった商品など、安全・安心・健康をキャッチフレーズとする。

19日には付随イベントとして、味の素・食品カンパニー海外食品部専任部長の荻原定彦氏が「日本食の『うま味』と安全・安心について」、ソウルに分校も開校した中村調理製菓専門学校（福岡県）の中村哲校長が「日本料理の歴史と思想～国際化の背景～」と題し、それぞれ講演を行う。（記事＝小松朋子）

2009年11月16日 E-daily

ビジネス食品産業展、Food Week 2009

国内外の食品メーカーや食品バイヤーとの実質的なビジネス創出のため Food Week 2009 は、11月19日～22日ソウル三成洞のCOEXで開催される。韓国を代表するフードビジネスの展示会というビジョンを持って始まった Food Week は、展示会の内の個々の展示会という Show&Show 型の展示会として、短期間で食品業界を代表する展示会として飛躍的な成長を心がけている。

◇全国ブランドの特産物が集合-全国8道自治体特設館を運営

まず、全国農産物ブランド直接取引市場、済州水産食品館、京畿道農畜産物館、日本、中国、東南アジア国家館など、優秀かつ信頼できる安心の食べ物を Food Week 2009 で会うことができる。全羅南道、全羅北道、慶尚南道、慶尚北道、忠清南道、忠清北道、江原道など、各地域の優秀農水畜産物や食品に一堂に接することができる絶好の機会になるだろう。京畿道、全羅道、慶尚道、忠清道、江原道、済州特別自治道などの各地域の代表的農水畜産物や特産物に一堂に会える食品大祭の場となる。

今年で開催6回目となる米博覧会は、品質の良い全国のブランド米と一堂に会える良い機会であり、コメ関連機能性食品と最近注目されている様々な健康発酵食品を一挙に披露し、健康的食事の案内を与える。

◇全国優秀韓牛は多集まれ、全国韓牛の能力評価大会！

韓国種畜改良協会は、今年初めて FOOD WEEK 2009 に参加して、第12回全国韓牛能力評価大会で入賞した肉の展示および試食会を開催する。期間中の COEX メインステージで大統領賞、農林水産食品部長官など、優秀な成績を収めた農家や団体の表彰とお祝いをする授賞式も行われる予定である。

る。

◇乾杯へ“マッコリ・ルネサンス”のためのマッコリ・エキスポ！

農林水産食品部が後援するマッコリ・エキスポは、国内の大手メーカーはもちろん、各地域の特色のあるマッコリ 50 以上の業者が参加し、150 以上の種類のマッコリを披露する予定だ。最近火がつき始めたマッコリ・ルネサンスを持続的に発展させるために企業の新製品競争も少なくない。これに国内マッコリ企業等の新製品だけでなく地方自治体の多様で特色あるマッコリも登場する予定なので、国内最高のマッコリを 1 ヲ所で見られる。

◇ビジネス価値を創出し、国内外バイヤー商談会を実施！

Food Week 事務局は、参加企業の国内およびグローバル市場開拓を支援するために、貿易協会、ザバイヤー、農水畜産新聞、COEX、BMC との協力のもと、国内および海外バイヤー商談会や招待イベントを実施すると発表した。国内の大手流通業者や食品関連企業をはじめ、飲食業、ホテル、レストラン関係者、企業や学校給食食材の購入担当者など様々なバイヤーが招待され、国内の新規取引先の発掘及び実質的なビジネス創出という 2 つの価値を同時に実現する機会を提供する予定だ。

◇世界の食文化を一堂に、15 ヲ国が国家館運営！

国際食品展というタイトルにふさわしく Food Week 2009 には日本、米国、中国、東南アジア 10 ヲ国などが海外館を運営する予定だ。

日本館では日本の 38 食品企業が菓子、麺類、調味料、加工食品、茶、清酒、焼酎など日本全国の多様な食品を紹介する予定だ。韓国でもすでによく知らされた日本酒、ラーメンから韓国に初めて紹介される食品に至るまで、展示品目は数百アイテムに達して、展示場では料理デモや試飲・試食会も実施する計画だ。味と健康指向の観点で世界の注目をあびている日本食材料の味を Food Week 2009 で見ることができる。

また、マレーシア、タイなど東南アジア 10 ヲ国の参加により、アジアの多様な食文化に接することができる機会があるだろう。

2009 年 11 月 20 日 朝鮮日報

安全な食品が一堂に

Food Week 2009 COEX で 22 日まで

安全な食品への関心の対象として国産食品と優秀農産物への関心が高まっている中、Food Week 2009 が三成洞 COEX で開幕した。国内最大の食品展である国際食品博覧会、国際調理機器展、プレミアム農水畜産展、ライスフェア及び発酵食品展、ホテル&レストラン産業展、京畿道優秀農産物名品展、食品包装展など 7 展示会を統合的に開催しており、2009 東アジア有機農業会議、韓国食品工業協会の投資誘致説明会、フードグローバルビジネスフォーラムでは、『日本料理の歴史と伝統』のセミナーなど、多彩なイベントを展示期間中に揃えている。

また、日本、米国、中国、東南アジア 10 ヲ国などが外国館を運営し、日本館では 38 社の食品メーカーがクッキー、麺類、調味料、加工食品、茶、酒、焼酎など、日本全国の様々な食品を紹介し、マレーシア、タイなどの東南アジア 10 ヲ国の参加によりアジア諸国の様々な食文化に接することができる機会が与えられる。

2009年11月23日 農民新聞

品質がよく、安全な食品一堂に

品質がよく、安全な農水産食品が一堂に会した Food Week 2009 が11月19～22日、ソウル三成洞 COEX で開催された。国際食品博覧会、国際調理機器展、プレミアム農水畜産展、ライスフェア及び発酵食品展、ホテルレストラン産業展、京畿道優秀農産物名品展、食品包装展。マッコリ・エキスポなど、統合開催された今回のイベントは、農水畜産従事者や学者・消費者団体などにお得な情報を提供する場となっている。

今年で開催6回目を迎えるライスフェアは、全国のブランド米を網羅し、米関連の機能性食品と最近、注目されている様々な健康発酵食品を一挙に発表した。今年初めて参加した韓国繁殖動物改良協会は、全国韓牛の能力評価コンテストに入賞した韓牛のヒレ肉展示および試食会を開催した。マッコリ・エキスポには全国50余りの企業が参加し、各地域の特色のあるマッコリで来場者を迎えた。ビビンバの優秀性を世界に知らせる“ビバップコリア”の公演も人気を独占した。

国際食品産業展という名称にふさわしく、日本、米国、中国、東南アジア10カ国のブースも用意されたが、特に日本館は38社が大規模に参加し、お菓子、麺類、調味料、加工食品、日本茶、日本酒、焼酎など様々な食品を展示した。また、日本食のグローバル化を主導している日本貿易振興機構（JETRO）関係者による関連情報と推進過程などを聞く機会も設けた。

平成 21 年度農林水産物等海外販路創出・拡大事業

(海外展示・商談活動 (韓国 (FOOD WEEK 2009)))

発行 平成 22 年 2 月

委託先 日本貿易振興機構 (ジェトロ)

〒107-6006 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 6 階

農林水産部 農林水産企画課

TEL:03-3582-4966 FAX:03-3582-7378